

## 事業所調査票における調査事項の検討課題

## 1 基本的な考え方

事業所ごとの調査においては、調査員が直接事業所を訪問することで、正確な事業所情報を把握することを目的として実施する。

また、調査にあたってはビジネスレジスターへの収録を踏まえ、経理項目の把握についての新たな調査事項の導入について検討を進める。

## 2 課題についての検討の方向性

検討課題	検討の方向性	検討の方法
調査票レイアウト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業統計調査との同時実施を踏まえ、適切な調査票レイアウトを設計</li> <li>・調査員の負担を考え、調査票の配布は簡素化する方向で検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査票の回答状況及び記入状況の把握</li> </ul>
プレプリント事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記入者の負担軽減をはかるため、可能な限りプレプリントを実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査票の回答状況及び記入状況の把握</li> </ul>
事業所の従業者数（従業上の地位）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所における就業状況を的確に把握するため、従来「常用雇用者・臨時雇用者」として整理していたものを「正規雇用者・非正規雇用者」に組み替え、記入状況を把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験調査において、従業者の表記を組み替えた調査票を2パターン用意し記入しやすさ等を確認</li> </ul>
1 事業所に係る調査事項		
(1) 連絡先情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出された調査票情報に対する照会を行うために把握</li> </ul>	—
(2) 正式名称及び電話番号・所在地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査実施のために必要な情報として把握</li> </ul>	—
(3) 本所・支所の別	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本店・支店の関係を整理するために必要な情報として把握</li> </ul>	—
(4) 前年総売上高	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の活動状況の概要把握</li> <li>・他調査への補定情報としての可用性を考慮し、調査事項とすることを検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験調査において、調査票を2パターン用意し、経理項目の把握による回答状況の変化等を検証</li> </ul>
(5) 経理の把握をしている事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスレジスターへの収録を考慮し、調査事項とすることを検討</li> <li>・「経理を把握している事業所」の定義については売上高を把握している事業所とする方向で検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験調査において、調査票を2パターン用意し、経理項目の把握による回答状況の変化等を検証</li> </ul>

検討課題	検討の方向性	検討の方法
(6) 従業者数	・ 事業所の規模を表すために必要な指標として把握	・ 前回調査においても把握している項目であり、調査項目とすることが妥当
(7) 主な事業の内容等	・ 事業活動の特徴づけるために必要な情報として把握	
(8) 開設時期	・ 事業所の開設状況に必要な情報として把握	
(9) 経営組織	・ 事業所の基本的属性に必要な情報として把握	
<b>2 企業に係る調査事項</b>		
(1) 資本金等の額及び外国資本比率	・ 企業の規模を表す重要な指標として把握	・ 前回調査においても把握している項目であり、調査項目とすることが妥当
(2) 決算月	・ 企業活動の年間スケジュールを把握するために必要な情報として把握	
(3) 持株会社か否か	・ 企業活動の実態を把握するために必要な情報として把握	
(4) 親会社の有無等	・ 企業グループの状況を把握するために必要な情報として把握	
(5) 子会社の有無等	・ 企業グループの規模を把握するために必要な情報として把握	
(6) 支所・支社・支店の有無	・ 企業規模を把握するために必要な情報として把握	

※網掛け文字は、特に検討を要する調査事項

### 3 試験調査における対応方針案

- 経理項目の把握は、記入内容を検証するため、経理項目を把握する調査票と経理項目を把握しない調査票の2パターンを用意し、回収率の変化や記入状況を検証する。
- 事業所における従業者の的確な把握について、調査客体にとって記入のしやすさに配慮し、事業所の従業者数の表記を組み替えた調査票を用意し記入状況を確認する。また、企業ヒアリング等の結果を踏まえ、どのような表記が望ましいか検討を進める。
- 商業統計調査との同時実施に向け、把握すべき調査項目の整理、調査票レイアウトの検討を進める。また、同時実施を円滑に進めるため、可能な限り調査員の事務の簡素化に配慮する必要がある。
- 事業所に対するアンケートを実施し、検討に向けた基礎資料を得る。